

新茶マラソン開催めぐ

28. 12. 26

つま恋発着 ヤマハ側が配慮

中日(夕)

催に向けて急ピッチで準備が進められるとみられる。正式には二十七日夜に開く実行委員会で決定する。松井市長は「新茶マラソンについてヤマハ側の理解をいただきありがたく思っている」と語った。

ヤマハリゾートつま恋（掛川市満水）の営業終了により、来年四月九日につま恋を発着点とする「かけがわ新茶マラソン」の開催が危ぶまれていた問題で、親会社のヤマハの高井正人執行役員らが二十六日、掛川市役所を訪れ、松井三郎市長に当日の会場使用がで

きるよう配慮していく考えを伝えた。取材に対し、高井執行役員はつま恋の譲渡候補先に新茶マラソン開催への協力を要請していると明かし「仮に交渉がうまくいかなかった場合でも、ヤマハとして場所の提供に努めていきたい」と述べた。

譲渡候補として浮上しているホテルマネージメントインターナショナル（HMIホテルグループ、神戸市）について「有力候補の一つとして交渉していることは事実だが、合意には至っていない」と話した。ヤマハ側の説明によって会場使用のめどが立ち、開